

長野市の人口推計について

1 人口推計の手法

本推計では、平成12年国勢調査人口に基づく、平成16年10月1日現在の推計人口(長野県企画局公表)の男女別・各年齢別人口を用い、「コーホート要因法」による男女別・各年齢別推計をした。

コーホート要因法とは

コーホートとは、同年(又は同期間)に出生した集団のことをいい、コーホート要因法とは、その集団ごとの変化を用いて人口推計を行う方法である。

具体的には、ある年の男女・年齢別人口を基準とし、ここに将来の出生率、生残率、移動率及び出生性比をあてはめ、将来人口を計算する方法である。

2 将来の人口

(1) 定住人口

目標年次(平成28年)における長野市の推計人口 36万7千人

日本の総人口が平成18(2006)年をピークに減少に転ずると見込まれる中、本市においても平成17(2005)年にピークを迎え、以降漸減し、第四次長野市総合計画の目標年次である平成28(2016)年には約36万7千人となる見込みである。

旧長野市、旧合併4町村の人口(実績)と長野市の将来推計人口 (単位:人、%)

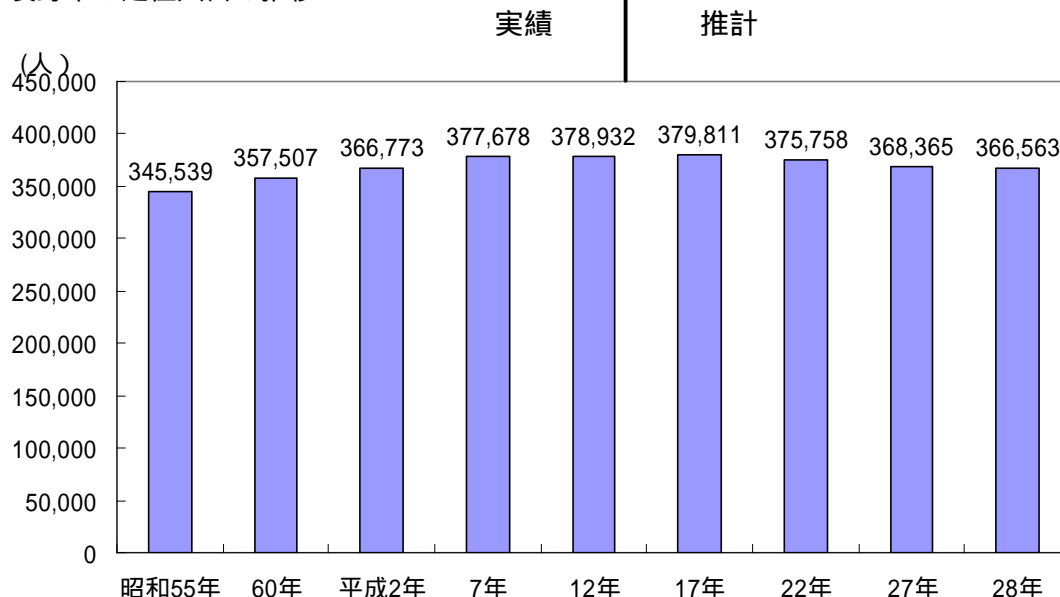
区分	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成18年 (2006年)	平成19年 (2007年)	平成20年 (2008年)
旧長野市	324,360	336,973	347,026	358,516	360,112				
旧合併4町村	21,179	20,534	19,747	19,162	18,820				
長野市	345,539	357,507	366,773	377,678	378,932	379,811	379,322	378,666	377,844
増加率		3.5%	2.6%	3.0%	0.3%	0.2%	-0.1%	-0.2%	-0.2%

区分	平成21年 (2009年)	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)
旧長野市								
旧合併4町村								
長野市	376,876	375,758	374,511	373,144	371,655	370,066	368,365	366,563
増加率	-0.3%	-0.3%	-0.3%	-0.4%	-0.4%	-0.4%	-0.5%	-0.5%

(注)平成12年以前の長野市の人口は、旧長野市及び合併旧4町村の人口の合算値

資料:平成12年までは総務省「国勢調査」、平成17年以降は長野市企画課推計

長野市の定住人口の推移



地区別将来推計人口（参考）

（単位：人、％）

地区	地区別人口					増加率	
	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成12年 (2000年)	平成28年 (2016年)
第一	7,283	6,784	6,529	6,291	6,243		-14.3%
第二	12,900	12,403	12,090	11,742	11,667		-9.6%
第三	6,875	6,902	6,829	6,695	6,662		-3.1%
第四	3,033	2,833	2,735	2,640	2,620		-13.6%
第五	5,372	5,149	5,027	4,887	4,856		-9.6%
芹田	28,652	28,878	28,617	28,084	27,952		-2.4%
古牧	25,253	26,035	26,010	25,652	25,552		1.2%
三輪	19,097	18,668	18,288	17,819	17,714		-7.2%
吉田	16,728	16,893	16,714	16,387	16,307		-2.5%
古里	13,752	13,661	13,516	13,252	13,187		-4.1%
柳原	7,302	7,251	7,173	7,033	6,999		-4.1%
浅川	7,418	7,208	7,040	6,847	6,805		-8.3%
大豆島	11,229	11,957	12,058	11,960	11,923		6.2%
朝陽	14,965	14,958	14,799	14,509	14,439		-3.5%
若槻	19,395	20,520	20,689	20,519	20,457		5.5%
長沼	2,716	2,666	2,614	2,549	2,535		-6.7%
安茂里	22,426	22,465	22,227	21,791	21,684		-3.3%
小田切	1,444	1,375	1,338	1,298	1,289		-10.7%
芋井	2,591	2,561	2,486	2,392	2,371		-8.5%
篠ノ井	39,233	39,230	38,815	38,054	37,869		-3.5%
松代	19,904	19,125	18,626	18,082	17,965		-9.7%
若穂	12,503	12,550	12,417	12,174	12,114		-3.1%
川中島	24,997	25,905	25,927	25,598	25,503		2.0%
更北	29,599	30,606	30,600	30,194	30,078		1.6%
七二会	2,399	2,188	2,096	2,014	1,998		-16.7%
信更	3,046	2,803	2,682	2,574	2,553		-16.2%
豊野	10,005	10,033	9,925	9,731	9,683		-3.2%
戸隠	4,938	4,633	4,471	4,314	4,282		-13.3%
鬼無里	2,333	2,082	1,969	1,875	1,857		-20.4%
大岡	1,544	1,489	1,451	1,408	1,399		-9.4%
総数	378,932	379,811	375,758	368,365	366,563		-3.3%

資料：平成12年は総務省「国勢調査」、平成17年以降は長野市企画課推計。

* 平成17年以降の数値は、過去（平成12年～16年）の総人口に対する地区ごとの構成比率の趨勢から、数学的手法（回帰式等）により地区ごとの将来の構成比率を算出し、将来推計総人口にこの構成比率を乗じ、地区別人口を算出した。

(2) 年齢 3 区分別人口

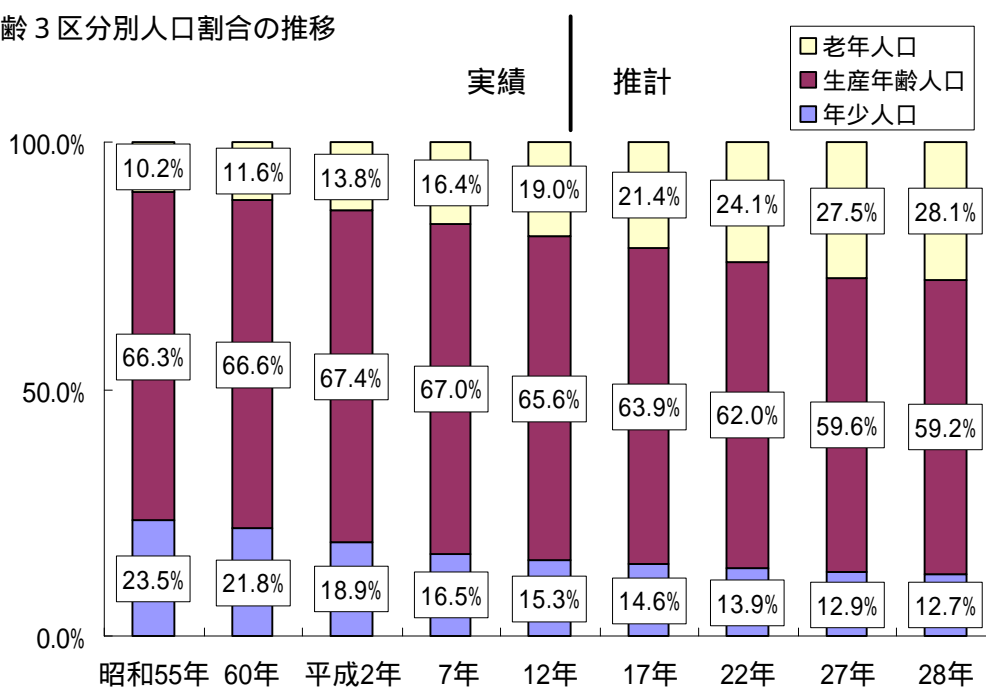
年齢 3 区分別人口の推移

(単位 : 人、%)

区 分	総人口	年 齢 別 構 成			構 成 比		
		0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
昭和55年 (1980年)	345,539	81,329	228,987	35,222	23.5%	66.3%	10.2%
昭和60年 (1985年)	357,507	77,919	238,094	41,484	21.8%	66.6%	11.6%
平成 2年 (1990年)	366,773	69,178	246,983	50,532	18.9%	67.4%	13.8%
平成 7年 (1995年)	377,678	62,456	252,951	61,984	16.5%	67.0%	16.4%
平成12年 (2000年)	378,932	58,044	248,727	72,118	15.3%	65.6%	19.0%
平成17年 (2005年)	379,811	55,552	242,800	81,459	14.6%	63.9%	21.4%
平成22年 (2010年)	375,758	52,073	232,980	90,705	13.9%	62.0%	24.1%
平成27年 (2015年)	368,365	47,478	219,555	101,332	12.9%	59.6%	27.5%
平成28年 (2016年)	366,563	46,451	217,138	102,974	12.7%	59.2%	28.1%

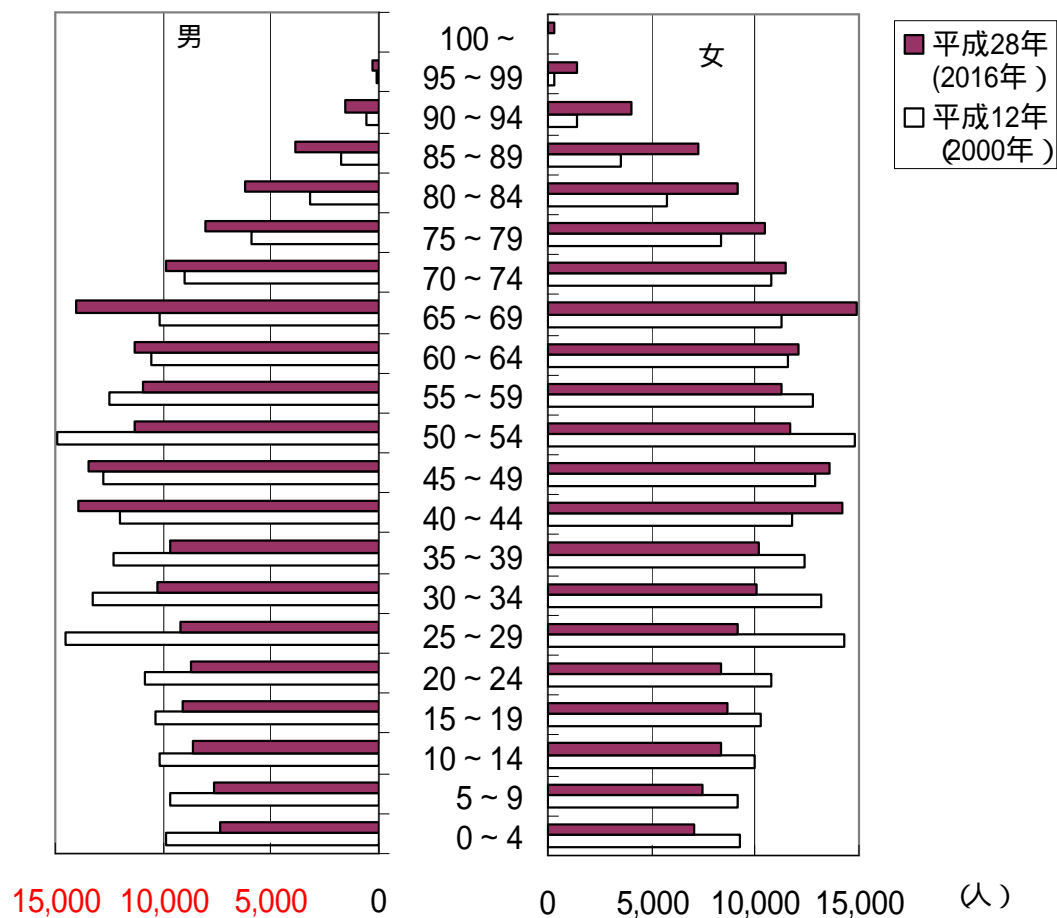
(注) ・平成 12 年以前の人口は、旧長野市及び合併旧 4 町村の人口の合算値
 ・昭和 55 年から平成 12 年までは年齢不詳があるため、総数の内訳とは一致しない。
 資料：平成 12 年までは総務省「国勢調査」、平成 17 年以降は長野市企画課推計

年齢 3 区分別人口割合の推移



(3) 男女・5歳階級別人口

平成12年(2000年)と平成28年(2016年)の人口ピラミッドの比較
(歳)



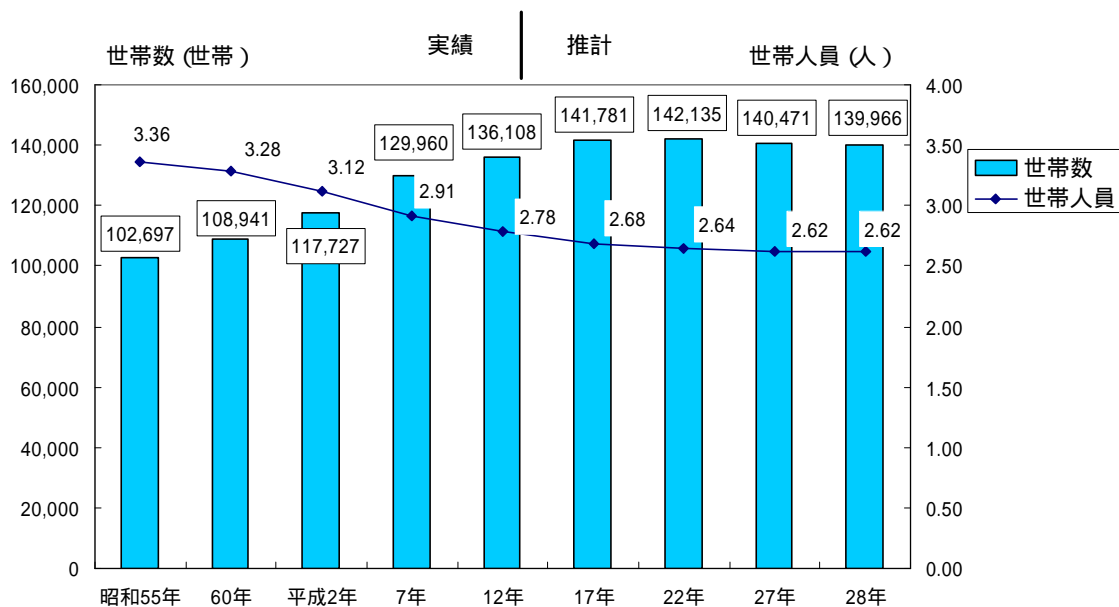
3 将来の世帯数

世帯数の推移

(単位：世帯、人)

区分	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)
世帯数	102,697	108,941	117,727	129,960	136,108	141,781	142,135	140,471	139,966
増加率		6.1%	8.1%	10.4%	4.7%	4.2%	0.2%	-1.2%	-0.4%
一世帯あたり 人員	3.36	3.28	3.12	2.91	2.78	2.68	2.64	2.62	2.62

(注) 平成12年以前の世帯数は、旧長野市及び合併旧4町村の人口の合算値
資料：平成12年までは総務省「国勢調査」、平成17年以降は長野市企画課推計



4 将来の就業人口

就業人口の推移

(単位：人、%)

区分	就業人口	就業率	内 訳					
			第一次産業		第二次産業		第三次産業	
			就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
昭和55年 (1980年)	175,095	66.3%	25,948	14.8%	48,785	27.9%	100,316	57.3%
昭和60年 (1985年)	183,633	65.7%	24,678	13.5%	52,985	28.9%	105,776	57.7%
平成2年 (1990年)	193,563	65.1%	21,370	11.1%	56,508	29.2%	115,431	59.7%
平成7年 (1995年)	205,996	65.4%	19,747	9.6%	58,424	28.4%	127,289	62.0%
平成12年 (2000年)	202,347	63.1%	16,727	8.4%	53,426	26.8%	129,221	64.8%
平成17年 (2005年)	200,331	61.8%	16,878	8.4%	53,116	26.5%	130,337	65.1%
平成22年 (2010年)	195,160	60.3%	16,693	8.6%	50,417	25.8%	128,050	65.6%
平成27年 (2015年)	188,601	58.8%	16,542	8.8%	47,609	25.2%	124,450	66.0%
平成28年 (2016年)	187,278	58.5%	16,444	8.8%	47,145	25.2%	123,689	66.0%

(注) ・平成12年以前の就業人口は、旧長野市及び合併旧4町村の人口の合算値
 ・昭和55年から平成12年までは分類不能があるため、総数の内訳とは一致しない。
 資料：平成12年までは総務省「国勢調査」、平成17年以降は長野市企画課推計

就業人口構成比の推移

